

『梅森レイジの終活』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『梅森レイジの終活』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『梅森レイジの終活』を読んだことのある20代～50代の男女31名
調査期間	2026年5月24日～2026年5月25日 2026年5月31日 2026年6月14日 2026年6月28日 2026年7月12日 2026年7月26日 2026年8月9日 2026年8月23日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/umemoreirezinosyukatu/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『梅森レイジの終活』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	1人
30代男性	5人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	6人
50代男性	17人
50代女性	1人

Q2:『梅森レイジの終活』の感想を教えてください。

梅森レイジの終活 1話	梅森の圧倒的な強さには、本当に唖然とさせられました。銀行でのやり取りを見る限り、梅森が認知症を患っていることはほぼ間違いないように思えます。身体つきも年齢相応で、到底複数の強盗と渡り合えるようには見えませんでした。だからこそ、あの覚醒後の姿には強烈なインパクトがあります。先ほどまで頼りなく見えていた老人が、一転して強盗たちを翻弄し、まるで遊ぶかのように瞬殺していくのですから。詐欺グループが逆に恐怖する側へ回っていく展開には、思わずスカッとさせられました。一方で、気になるのは仏壇に貼られていた写真です。梅森がその写真に対して、並々ならぬ恨みを抱いていることだけは伝わってきました。あの異常な強さや執念も、過去の出来事と深く結びついているのでしょうか。梅森の過去に何があったのか、今後の掘り下げに注目したいです。
梅森レイジの終活 1話	『梅森レイジの終活』1話は、加齢により判断力が鈍ってしまったと思われた梅森さんが、家族が亡くなった原因を思い出したとたん、表情が一変するシーンがとても印象に残りました。1話で梅森さんが倒した犯罪グループは戦闘能力的にはおそろくたいしたことがなかったためあっさり全滅させられましたが、この先一筋縄ではいかない敵も出てきそうで、続きが読みたくなりました。
梅森レイジの終活 1話	介護を受けるほど物忘れの激しいおじいちゃんが、強盗グループに襲われたことがきっかけで一気に覚醒するところが痛快でした。本人もボコボコにされながらも、しっかりと全員始末した手際は素晴らしかったです。そしてその際に判明した過去の辛い記憶と、仏壇にあった謎の写真がどう繋がっていくのかがとても興味深かったです。これは先の展開が楽しみです。
梅森レイジの終活 2話	梅森は強いだけの男ではない。それが今回でハッキリしたように思います。梅森であれば、フィジカルだけで押している梅森の元彼なんて、簡単に制圧することもできたでしょう。ですが、梅森はあえてそうしませんでした。自分が高齢者であること、周囲からどう見られるか、警察が来た時にどちらが不利になるか。そこまで計算した上で立ち回っていたように感じます。結果として、元彼だけが暴力的な人物として見られ、梅森自身はほとんど問題視されませんでした。力だけではなく、状況をコントロールする巧さを持ち合わせているところが、本当に見事です。ただ、元彼がこれで諦めるとは思えません。むしろ今回の件で恥をかかされた、梅森を逆恨みしていても不思議ではないでしょう。相手は感情で動くタイプに見えるだけに、今後さらに厄介な行動へ出る可能性が高いように感じました。梅森と元彼の関係が、これからどのように発展していくのか注目したいです。
梅森レイジの終活 2話	ヘルパーさんにお世話してもらっただけのただの老人かと思ったら、ストーカーをするなかなか体格もいい男性を。そしてヘルパー綿貫の悩みを解決してくれるなんて。まさかの展開がおもしろかったです。さすが、年とっても頭の回転が鈍くならうとも昔取った杵柄で、体はしっかりと覚えているんですね。おじいちゃんなのにかっこいい。
梅森レイジの終活 2話	家に帰ってくるはずの妻と子のためにいそいそとお味噌汁を作っていて、でもその途中に思い出す。すでに妻も子もいないということ、自分はそこと違ってやせ衰えた老人で一人ぼっちでその家において。なんてつらい。つらすぎる。そうなったら、復讐こそを糧にして生きるしかないですね。主人公の気持ち、よく分かりました。
梅森レイジの終活 3話	梅森の過去が明かされたことで、ここまで復讐に執着している理由にも納得できました。最初は任務上の関係に過ぎなかったとしても、共に暮らしていく中で本物の家族になっていったのでしょうか。だからこそ、ようやく築き上げた幸せを理不尽に奪われた時の絶望は、想像を絶するものだったと思います。愛する妻子を失えば、復讐を誓うのも無理はありません。むしろ、ここまでの過去を知ってしまうと、どうか成し遂げてほしいと感じてしまいました。一方で驚かされたのは、梅森の準備の周到さです。すでに素手だけでも圧倒的な強さを見せていましたが、そこに銃器まで加わるとなると、もはや脅威的と言っていいでしょう。ただ感情に任せて暴走しているのではなく、長い年月を掛けて復讐のために備えてきたことが伝わってきました。
梅森レイジの終活 3話	お年寄りって、若者から見たら誰もかれも同じように見えるかもしれません。でも彼らだって昔は若者だったのです。そしてさまざまな人生があった。恋をしたり苦しんだり、とはいえレイジの過去はなかなか衝撃的でした。そりゃただの素人相手に負けるはずありませんよね。お年寄りになったって変わらず強いレイジがすごすぎる。

梅森レイジの終活 4話	池田の性根の腐り切った本性には、本当に嫌悪感を覚えました。冒頭の様子だけを見ると、過去には問題があったとしても、今は更生しているのかもしれないと感じてしまったんですね。だからこそ、その後に明かされた本性との落差が凄まじかったです。むしろ最初に好印象を抱いてしまった分だけ、その醜悪さに対する怒りも強くなりました。一方で、円空が気になります。池田は欲望に忠実すぎるあまり、どこか隙がある人物にも見えました。しかし円空は違います。今回のやり取りからも、かなり慎重で警戒心の強い人物であることが伝わってきました。仮に池田への復讐を果たしたとして、それは円空を警戒させることにも繋がります。いずれ円空ともやり合うことになるのですが、相当苦戦しそうだと感じました。
梅森レイジの終活 4話	4話では、まず最初に復讐する相手として狙いを定めた池田がどんな人物かについて描かれており、表では良い人のフリをして、裏では子どもたちを利用して私服を肥やしている彼の姿に嫌悪感を覚えました。こんな悪人なら梅森さんに命を奪われても仕方ないどころか、むしろ早急に鉄槌を下してほしいと思わせてくれて、物語の構成としてとても良いと感じました。
梅森レイジの終活 4話	復讐相手の一人である池田。養護施設を運営しているという、そういう方たちのために頑張っているんだなと一瞬は思ってしまうかもしれませんが、クズがそう簡単に改心するわけもないってことですね。まさか裏ではそんなことをやっているとは。遠慮なく復讐できますね。さすがは年寄りになっても行動は的確で迅速なレイジですね。
梅森レイジの終活 5話	池田に関しては、本当に救いようがありませんね。ただ過去に悪事を働いていたというレベルではなく、今なお平然と子供たちを獲物として見ている。しかも、それを慈善活動の仮面で隠しているわけですから、悪質さが際立っていました。これは情状酌量の余地なしといっているでしょう。梅森には、徹底的に復讐を遂げてほしいと思わされました。一方で、組長の存在に不安を覚えます。池田は梅森一人でも問題なく制圧できるでしょう。しかし、組長はどうでしょうか。修羅場の数も池田とは比較にならないでしょうし、危険察知能力も高そうです。これまでのように梅森が一方的に圧倒する展開にはならないかもしれません。梅森一人で組長に勝てるのかどうか心配になりました。
梅森レイジの終活 5話	如何わしい撮影会を開催しようとしているご機嫌な池田の元に、清掃のルームサービスだと偽り平気な様子で部屋に入っていく梅森にはハラハラしたけど、池田がフロントへ電話したのに繋がらず、入口のボディガードがすでに惨殺されていたと知った時はゾッとしました。梅森が掃除道具の箱の中身を池田に見せ、チェーンソーから包丁、ドリル・トンカチなどの殺しの道具が出てきた時は驚きました。
梅森レイジの終活 6話	組長を早い段階で退場させることができ、ホッとしました。この中だと戦闘に特化していたものは組長だけであり、梅森がこの場を制圧できるかどうかのキーだったと言えます。その脅威が早々に消えたので、一安心しました。一方で、梅森の不安定さに危うさを覚えます。あれだけ強烈な殺意を抱いていたのに、一瞬で霧散してしまったのですから。復讐を成し遂げるまで梅森が持つのか、心配になりました。
梅森レイジの終活 6話	いくら油断していたとしても、銃を向けた相手をほおっておいて呑気に話すぎです。レイジの手際もいいし、結構スカッとできる展開でした。気になるのは、レイジがどれだけボケているかなんですね。来る途中で始末した男性も運んでいましたが、どれくらい綿密に計画を立てていて、どれだけボケずにその計画を実行できているのかが気になります。死体を詰め込んだバッグが何だったのか思い出せないってのが面白いです。そして、6話では、主人公が案山子(かかし)と呼ばれていたことが判明しましたが、もともとどれだけの実力が合ったのかも気になります。
梅森レイジの終活 7話	まずは一人目といったところでしょうか。ここまでのですから、池田の生死はもはや語るまでもないでしょう。池田自身がこれまで他人へ与えてきた恐怖や絶望を、じっくり味わわせた上で破滅へ向かわせている。そこに強い因果応報を感じました。その一方で、情報面に不安を感じます。梅森が池田を知ることが出来たのは、本当に偶然によるものでした。ですので、池田の情報が無ければ、次に繋げることは出来ません。池田からどこまで情報を引き出せたのかが、今後を左右する非常に重要なポイントになりそうだと感じました。
梅森レイジの終活 7話	復讐している間にも昔を思い出すなんて、なかなか他の復讐モノの漫画にはない展開ですね。ようやく一人目の復讐が終わりましたが、なかなかエグい復讐方法でしたね。腸を引きずり出されたら普通は意識なんて戻らないでしょうが、きちんと断腸されるまで意識があつてスッキリしまし

	た。復讐後にすぐにおじいちゃんに戻るところも面白いです。
梅森レイジの終活 8話	梅森は次のターゲットとして鍵を選んだようですが、これはかなりの苦戦を強いられそうだと感じました。というのも、鍵はこれまでのターゲットの中でも屈指の武力を持つ人物だからです。特に、傍に潜んでいる歯車の存在は厄介で、いかに梅森といえど簡単には突破できないのではないのでしょうか。もちろん、梅森が全盛期の頃であれば、そこまで心配する必要はなかったかもしれませんが。しかし現在の梅森は認知症を患っており、池田との戦いですら危うい場面がありました。そんな状態の梅森が、鍵という強敵をどのように相手取るのか。今後の展開に注目したいところです。
梅森レイジの終活 8話	一人目の復讐はあっさりと終わりましたし、次もそこまで苦しい展開にはなさそうな気がします。ターゲットたちが一同に集まっていますが、鍵と毘沙門は冷や汗をかいて焦っていましたし、小物な感じがします。一番の強敵は円空として、次に厄介そうなのは天草です。復讐も4人目くらいから、手こずり始めるのかなと、個人的には思います。
梅森レイジの終活 9話	DVDの内容には驚かされました。映像を見る限り、梅森の妻子を害したのは歯車であると考えて間違いないでしょう。そうすると、歯車を配下に従えている鍵が何らかの命令を下していた可能性は極めて高く、妻子の殺害に鍵が深く関与していたことが明らかになりました。その意味では、今回のDVDによって大きな収穫があったとも言えます。長年にわたって謎に包まれていた、梅森の妻子は誰に殺されたのかという疑問に一つの答えが示されたのですから。
梅森レイジの終活 9話	DVDの送り主が気にかかります。この映像を所持していただけても驚きですが、梅森が案山子であることや居場所まで知っていることを考えると、組織に深く関わっている人間であることは間違いありません。一体誰が、何の目的で送ってきたのか注目したいです。
梅森レイジの終活 10話	これまでの経緯が明らかになり、ようやく腑に落ちました。これまで気になっていたのは、なぜ梅森は今になって復讐を始めたのかという点です。認知症によって復讐の目的そのものを忘れてしまっていたという理由は理解できます。しかし、それなら認知症を発症するまでの間、なぜ行動を起こさなかったのかという疑問が残っていました。今回、その空白期間の経緯が描かれたことで、これまで抱いていた疑問が解消され、非常にスッキリしました。
梅森レイジの終活 10話	梅森がこれまで生きながらえたことに違和感を覚えます。組織の情報網なら、梅森を探し出すことぐらいは出来たのではないのでしょうか。それにもかかわらず、長年にわたって梅森は放置されていました。単なる見落としや偶然だったのか、それとも組織内の誰かが意図的に梅森をかくまっていたのか。もし後者であれば、今回DVDを送ってきた人物とも何らかの関係があるのかもしれません。過去の謎が解けた一方で、新たな謎も浮かび上がる展開となっており、今後どのような真相が明かされるのか楽しみです。
梅森レイジの終活 11話	歯車の行動に驚きました。これまでの描写から、てっきり彼は鍵の忠実な部下なのだと思っていただけに、今回の行動はあまりにも意外です。しかも、鍵の護衛を始末し、連絡手段まで断ったうえで梅森を待ち受けていたことを考えると、歯車は最初からこの状況を作り出すつもりだったのでしょう。しかも、梅森とのやり取りから判断する限り、あのDVDを送ったのも歯車で間違いないように思えます。今回の一件で、その裏に独自の思惑を秘めている人物であることが明らかになりました。一体何を目的としてDVDを送り、梅森をここへ導いたのか。その真意を知りたくなりました。
梅森レイジの終活 11話	これまでいろんな復讐系の漫画を読んできましたが、その殆どが過去に受けた苦しみを覚えていました。ただ、梅森は記憶がないのに、復讐心だけ残っているんです。これは可哀想だし、悲しいです。人として残っているのは復讐心と復讐するための技術だけ。だからこそ、あれほど人を寄せ付けられない表情ができたのだと思います。
梅森レイジの終活 12話	梅森の強さには驚かされました。見た感じ、歯車の強さは普通ではありません。そんな歯車でさえ、梅森にはまったく歯が立たなかったのです。想像以上に凄い殺し屋だったんだと驚きました。
梅森レイジの終活 12話	今後の梅森の行動が気になります。歯車ですら敵わなかったのですから、鍵も同じ道を辿ることは間違いないでしょう。そうすると、妻子に手をかけた犯人はこれで片がつくことになります。ここで復讐を終えるのか、もしくは円空たちにまでその範囲を広げるのか。どのような決断を下すのか注目したいです。

梅森レイジの終活 13話	これでひとまず終わったか。そう感じていただけに、この展開には驚きました。天草の写真を見ただけなら、梅森もそれほど気に留めなかったのかもしれませんが。しかし、オサムのことを思い出していたのは不味かったですね。息子の姿を重ねてしまったことで、梅森の中で再び復讐心に火がついてしまったように思います。何より、梅森の目は完全に座っていました。あの表情を見る限り、梅森の復讐劇はまだまだ終わりそうもない。そう感じさせる展開でした。
梅森レイジの終活 13話	歯車も鍵もあっけなくやられてしまったわけですが、鍵の最後もどうせなら知りたかったですね。あっという間に始末されたんでしょうが、鍵と最後にどんな会話をしたのかが気になります。もう次の天草の話に入ったみたいなので、描かれることはなさそうですが。とはいえ、次の天草の話も気になるので、展開が早いのはいいことですね。
梅森レイジの終活 14話	想像以上にヤバイ宗教でした。あの母親が危険人物であることは、初めて会った時からわかっていました。ただ、他の信者たちまで母親と同レベルの異常さだとは想定外といえましょうか。ここに長く居てはいけません。そう感じさせられました。
梅森レイジの終活 14話	梅森がお金を納めたことはファインプレーだったように思います。ただ集会に参加しているだけだと、埒が明かなかったのではないのでしょうか。しかし、これで大きく前進したように思います。意外にも、すんなり復讐を果たすことが出来るかもしれませんね。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス